



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1606 / 2022. 4. 08

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報

Weekly Report

2021~2022年度クラブテーマ

会長 河邊 幸夫

「みんなで親睦・奉仕 楽しく規律ある例会」

本日の例会：2022年4月15日 通算1634回 本年度 第35回

クラブ協議会 「台北東海RCとのオンライン交流会」

● 第1633回 例会報告／2022年4月8日

出席報告：会員 52名 出席 30名（内 ZOOM 2名）

ゲスト：大野 佐吉（卓話） 田原 繢（東京浅草RC）

高窪 祥文、蕪木 順一

計 4名（敬称略・順不同）

卓話：「つくだ煮と鮒佐」

鮒佐 五代目店主 大野 佐吉 氏



4月8日 15件 34,000円 累計1,032,000円
多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

大野佐吉・田原績（東京浅草RC）/河邊幸夫/福田栄二/土屋東一/コンシニ/金山驍/入沢頼二/佐藤仁/高須康有/西澤民夫/谷口友保/岩上義明/藤井万博/関陽一/大谷啓子

紹介者：金山会員

今 後 の 予 定	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	4月22日	12:30 13:30	B1F ギャラクシー ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	東京麻布RCと合同例会（麻布RC主催） 卓話：現代の都市社会を映し出す 『コロナ・食文化・人々のつながり』 HAL YAMASHITA 東京本店エグゼクティブ オーナー兼エグゼクティブシェフ 山下 春幸 氏
	4月29日			休 会	
	5月6日			休 会	
	5月10日	18:30	未定	火曜会	火曜会
	5月13日	RI2750地区 地区大会 場所：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール館 ※ 東京赤坂RC例会は休会となります。			
	5月20日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：「米山記念奨学会 学友会活動」 地区米山記念奨学会 学友会委員長 朴貞子 氏
	5月27日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：社会福祉法人聖友ホーム常務理事 聖友学園施設長 若松 弘樹 氏
	6月3日	12:30 13:30	会場：未定	例 会	卓話：イニシエーションスピーチ 林 志英 氏

各位

本日、第12回地区役員会に参加してきました。

三浦ガバナーがウクライナとポーランドのロータリークラブの活動について、話されていましたので、ご参考までに皆様に共有します。

「まさかこの21世紀に武器を持って殺し合い、特に老人、子供、女性を狙うなど人間としてあるまじき行動に對して、残念、違和感、悔しさを強く感じます。難しいことだとは思いますが1日も早く正常に戻ってもらいたいものです。このような中にあって、ポーランドのロータリークラブはロータリーの旗をバスの前に掲げ、食料品、医薬品を満載してウクライナに危険を冒して越境します。積載品を下ろすと、怪我人、女性、子供を乗れるだけ乗せて、ポーランドに連れて帰ります。

このように毎日英雄的な活動をしていますが、資金も枯渇してきており、支援が必要です。

ちなみにキエフだけでロータリークラブは12もあり、普段はロシアのロータリークラブと、とても緊密に行き来していたそうです。ウクライナの救済を切にお願いします。」

ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援 (記事 国際ロータリー 05-Apr-2022)

ウクライナでの戦争により、民間人の避難が余儀なくされ、深刻な人道的影響が出ています。国連によると、350万人以上（その大半は女性と子ども）が近隣諸国とヨーロッパ全域に避難し、ウクライナ国内の避難民も約700万人に上っています。

難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。

ロータリー財団は、ロータリー地区が実施している救援活動を支えるために世界中のロータリー会員や一般の方々が寄付することのできる正式な窓口を設置しました。財団は、その主な窓口として災害救援基金を指定しました。

現在までに730万ドル以上のご寄付がこの基金に寄せられています。

以下に、4月1日時点での最新のプロジェクトをいくつかご紹介します。

- 第2231地区（ポーランド）のクラブは、50,000ドルの災害救援補助金を活用して、ウクライナから逃ってきた難民に移動手段、宿泊場所、食料、医療援助を提供しています。
- 第2240地区（チェコ共和国）は、被災者のために寝袋、医薬品、食料、除細動器、心電図装置、酸素濃縮器など5万ドル相当の物資を購入しました。
- ドイツの地区ガバナーは、会員による取り組みやオンラインでの支援活動の調整にあたる全国規模のタスクフォースを設置しました。政府機関や非政府組織との窓口となるタスクフォースの事務局は、ベルリンに設置されています。
- フランス全土のロータリークラブが力を結集して、難民のための必要物資の収集と配布にあたっています。国内のクラブから寄せられた寄付と物資は、地区ガバナーが取りまとめ、ウクライナのロータリークラブの支援のほか、ポーランドとルーマニア経由でやってきた難民の支援や、これらの国にいる難民のフランス移送などに役立てています。ニーズの特定は、フランスがかかわる複数の国際共同委員会が行っています。
- 第1910地区（オーストリア）は、25,000ドルの災害救援補助金を活用して、オーストリアに逃ってきたウクライナ難民のために、宿泊場所、ベビー用品、医薬品、衛生用品、心のケア、食料、電化製品などを提供しています。

(執筆協力 : Kim Widlicki, Claudia Brunner)